



三友美恵子

## 平成26年度の施策を進捗させ 町の活性化を求む

町 積極的な情報発信により  
観光振興や経済の活性化につなげたい

**Q** 道の駅の進捗状況は。

**〈町長〉** 平成27年4月下旬のオープンを目標としている。町の直営とし、公益財団法人玉村町農業公社に運営委託が決まった。売上高は4億円と見込んでおり、1年で達成したい。

**〈町長〉** 利用者が求める情報を取得しやすい設備を構築する。また、無線LANの環境も整える。道の駅ホームページ・観光パンフレットなどにより、地域情報・イベント情報・観光情報などを発信していく。

**Q** 町なかに観光客を誘導するため

に、歴史資産を観光資源として活用するための整備が必要と思うが。

**〈町長〉** 旧玉村宿は、日光例幣使道の第1番目の宿場町であった。その核である玉村八幡宮や和泉屋などの歴史資産を保全・活用しながら、住民と来場者が集う歴史文化拠点として再生していく。

**Q** 町の観光や定住促進のために

でもある町勢要覧を作成してはどうか。

大きく変わるので、町勢要覧を作成したい。

**Q** 乗合タクシー「たまりん」は平成

24年9月にダイヤ改正を行ったが、乗客数が減少している。運行を再検討してはどうか。

**〈町長〉** 検討したい。



東毛広域幹線道路が開通し、大きく変わる玉村町

## 防災・防犯対策をさらに強化すべきだ

町 住民の安心・安全のため、対策を図っていく



原 秀 夫

**Q** 平成26年10月13日に、台風19号が本県に來襲した。町に甚大な被害はなかったが、自助・共助・公助について、どのような対策を行ったのか。

**〈町長〉** 10月12日に災害対策本部のメンバーを招集し、13日に災害警戒本部を設置した。その後、保健センターに自主避難所を開設、役場職員や消防団員に自宅待機を指示、関係職員15人が役場に宿泊し、台風の通過に備えた。

**Q** 被害が出ることを想定し、関係各所と協議したか。

**〈町長〉** 冠水等に備え、事前に水門の操作を行った。また、東京電力と緊急時の対応を協議した。

**Q** 住民に避難を促す場合の周知方法は。

**〈町長〉** 避難情報は、一般的に避難準備情報・避難勧告・避難指示の3段階に分けられる。これらの発令は伝達マニュアルに基づいて運用され、広報車や報道機関への情報提供・緊急速報メール・ホームページなど



高橋茂樹

## 東毛広域幹線道路沿線の効果的な土地利用を求める

### 町 町にとって適切な利用を図っていく

**Q** 文化センター周辺地区定住促進事業の今後のスケジュールは。

**〈町長〉** 平成27年度に第一期造成工事に着手し、平成29年度にハウスメーカーへ販売を開始する。平成29年度から第二期造成工事を開始し、平成31年度の販売開始を目指す。

**Q** 住宅地の販売計画は。

**〈町長〉** 一区画約70坪の土地を、約200区画造成する。造成された大半の土地をハウスメーカーへ販売し、その後住民へ供給される。また、注文住宅で建築できるよう、地元不動産業者に仲介

**Q** 地元の業者には、どのような方法で販売するか。

**〈都市建設課長〉** ハウスメーカーと同様に土地を購入していただくか、仲介という形で進めていただきたい。

**Q** 東部工業団地の拡張造成計画は。

**〈町長〉** 東側の5・5ヘクタールは既に工場・倉庫用地となっているため、実質西側の6ヘクタール程度が提供できる部分となる。それ以上の申し込みがあった場合は、次の市街化区域編入を目指す考えである。業務拡張を考えている町内企業

への用地提供を行いたい。

**Q** 東毛広域幹線道路周辺の農地を、今後どのように利用するか。

**〈町長〉** 守るべき農地はしっかりと守り、産業の発展に必要な土地は今後もしっかりと確保していく。



東毛広域幹線道路の両端に広がる農地



で周知する。今回は3名が自主避難所を利用したが、今後は女性職員の配置なども含め、対応を改善する。

**Q** 振り込め詐欺や特殊詐欺への対応は。

**〈町長〉** 警察や関係各所と頻繁に情報交換し、その他注意喚起のチラシを每户配布、安全・安心パトロール隊によるアナウンスなども

行っている。ひとり暮らし高齢者宅に設置する防犯機器取り付け費用の助成は、今後検討する。

**Q** 犯罪に巻き込まれな

**〈町長〉** 「安全・安心協力の家」への協力を募集したり、小中学生がラインの使用時間を午後9時までとする取り決めたを行った。



県立女子大前に設置されているパトロール詰所